

事業者向け 放課後等デイサービス支援自己評価表  
令和7年度キッズランド まめの木 羽鳥校

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		100%		
	2	職員の配置数は適切であるか		100%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		100%		・バリアフリー化はほぼされているが、廊下が狭い、エレベーターが小さく大きいバギーが乗車できない等があり設備の改善してほしい。 ・実際の支援では、不足しており業務の困難な日も多くあるため、人員増加が必要。 ・玄関の段差や幅が狭く車椅子がぶつかる」ことが多々ある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか PDCA…P(計画)D(実行)C(評価)A(改善)	100%			・計画書等は全職員が目を通せるようになっている。 ・会議で全職員に周知を徹底している。 ・全ての項目で『はい』とは言えない部分もある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公開しているか			100%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(まめの木では、第三者評価は行っていない)	100%			・第三者評価表は行っていない、契約書類に明記されている。
	8	職員の資質の向上のために、研修や勉強会の機会を設けているか	100%	0%	8%	・毎月職員研修を行っている ・研修会以外に気づいた時行っている ・外部の研修にもっと参加できる機会があればよい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の要望や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスの個別支援計画を作成しているか	100%			・モニタリングや見直しなど職員さんかし計画書の作成に生かしている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(知能検査・発達検査)を使用しているか	100%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・大筋のプログラムを話し合い、詰めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・5領域を意識する ・各児童にあったレクを取り入れるようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			・平日、休日で分け内容を考えている
	14	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス個別支援計画を作成しているか	100%			・モニタリングをして家族とコミュニケーションをとり要望を取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・朝礼を行い確認している ・毎日記録している連絡事項表も活用
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			・支援終了時は送迎の為戻りがバラバラの為必要事項の報告のみ。 ・翌日上記も含めて連絡事項に記入、朝礼時確認している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・日々連絡帳やLINEで伝達等を行っている。 ・ホワイトボードに記入し全体への情報共有としている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・職員、家族等から聴取し、その時各児童にあった計画書を作成している。
19	ガイドラインに沿って自立訓練・機能訓練・創作活動・余暇の提供などを組み合わせて支援を行っているか	100%				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	8%	8%	・学校で使われているアプリを共有し確認している。 ・お迎えの時必要な情報共有を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			・今のところ医療的ケアが必要な児童はいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			・必要時、ご家族とも話し合い、情報提供を行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			100%	・こういった専門機関と連携をもっと密にしていきたい。また研修等参加していきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%			・近隣の保育園などと行事での交流あり
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	・今後は参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・連絡帳や送迎時等伝達している。 ・面談以外でも送迎時やLINE等で情報共有を行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%		50%	・必要な場合は専門的知識を持つ方をお願いする
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・施設内に掲示している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・個別に対応している、必要に応じて専門的知識のある方へ助言を求めている
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			・保護者会以外でも保護者同士が気軽に話し合ってもらえるように保護者参加型のレクや発表会など行っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・ミーティングで周知し話し合いを行っている。 ・各対応マニュアルに則り、対応している。
	34	定期的なまめの木通信などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			・個人ファイルは鍵付きのロッカーに保管。ファイルは必ず元に戻すように徹底している ・通信、室内掲示板にも配慮している ・写真撮影、連絡が個人の携帯であることが不安部分もある
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・送迎時情報交換や職員同士でも話し合い配慮を行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	・今後設けていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			・契約時に必ず説明している。特に避難場所などについては定期的に発信している ・社内研修時 確認している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、防災、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・定期的に各種避難訓練や必要物品の確認をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を行う等、適切な対応をしているか	100%			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス個別支援計画に記載しているか	100%			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の意向や医師の指示書に基づき対応がされているか	100%			・食べ物アレルギーなど職員間で共有している
	43	ヒヤリハット報告書を作成して事業所内で共有しているか	100%			・ヒヤリを上げるよう日頃から声掛け行っている ・ヒヤリ上がったものを職員間で共有、検討している